

## (6) 久万高原ブロック (久万高原町)

### ～産地づくり～

生産者の高齢化が著しく進行するなか、夏季冷涼な気候を活かした夏秋野菜における新たな栽培者の確保・育成や生産技術の向上による産地振興を図ります。

また、単収の低い農家の要因分析とその課題解決に向けた対策の推進や技術指導強化等を図ることで、安定した生産量を確保するとともに、生産者の高齢化に対応できる省力化技術の導入や、労働力の確保対策を講じながら、産地の規模拡大を図ります。

### ～推進品目や産地づくりの方向～

#### ○若手栽培者を核としたトマト産地の復活

##### 【取組】

- ①久万高原町営農支援センターを核に産地復活を支援
- ②新規就農者を中心に栽培者を確保するとともに、低単収の要因究明を実施
- ③生産性向上のため、技術マニュアルを作成・普及
- ④久万高原トマト産地の認知度向上などに向けた情報を発信
- ⑤農業公園研修生や新規就農者に対し、夏場の生産・品質安定対策を指導

##### 【成果】

- ①トマト部会青年部による市場アンケートにより、産地としての評価や市場からの要望等を確認し、生産現場へフィードバック
- ②低単収の要因は、経験・知識不足からくる適期作業の遅れであることを確認
- ③単収向上対策を記載した技術マニュアルによる指導により、新規就農者らの10a当たりの平均単収は10.3t達成(部会平均：8.4t)
- ④久万高原の景色や農業の魅力を発信するためフォトブックを作成、イベント等で配布しトマト部会青年部の活動をPR
- ⑤有効的な対策として、新たに4人が細霧冷房システムを導入



栽培管理をする研修生



研修生の勉強会

#### ○ピーマン栽培における省力化の推進と産地の規模拡大

##### 【取組】

- ①労力に見合った栽培面積の提案と基本技術の徹底
- ②自動かん水施設等の省力化技術の導入推進
- ③労働力確保対策(農福連携等)を推進

##### 【成果】

- ①ピーマン出荷量：541 t (前年比107%)
- ①ピーマン栽培マニュアルの作成・配布
- ②自動かん水施設導入希望農家の選定：2件
- ③ピーマン部会の組織活動に労働力補完体制づくりを位置付け
- ③農福連携による収穫作業体験：1件



農福連携による収穫作業体験

### ～地域づくり～

就農希望者に対し、町の農業研修制度を活用して、トマト栽培や経営管理等の研修を実施します。若い新規就農者には、青年農業者組織での活動を通して地域内外での仲間づくりを支援するとともに、スムーズな地域への就農と定着に努めます。

また、規模拡大を目指す農家等に対し、スマート農業等省力栽培技術の導入を支援するとともに、人・農地プランの実質化等を通じて農地の集積を図り、地域の担い手として育成します。

中山間地域の夏季冷涼な気象条件を活かした夏秋期の出荷品目や土地利用型作物(加工用野菜、雑穀、さといも等)の拡大・活用等による農業所得の向上と地域の活性化を図ります。

営農に関する情報共有システムを構築し、映像によるリアルタイムな情報交換と現場の課題解決を図るため、高速情報通信網の活用を含めたスマート農業の導入を推進します。

## ～推進対象や地域づくりの方向～

### ○地域農業を支える新規就農者の確保・育成

#### 【取組】

- ①町内外からの多様な就農希望者に対し、町の農業研修制度を活用して、トマト栽培や経営管理等の研修を実施
- ②就農後も関係機関が一体となり安定生産技術や経営技術の向上を支援
- ③若い新規就農者には青年農業者組織への加入を推進し、集団活動を通して仲間づくりを支援するとともに、栽培技術等の情報交換を図り、地域への定着を推進

#### 【成果】

- ①新たに2人が農業研修をスタート
- ②新規就農者：4人（トマト栽培開始：農業研修卒業生）
- ②新規就農者への栽培講習会の開催：13回
- ③若い新規就農者の青年農業者組織への加入：4人
- ③青年農業者組織による、久万高原農業の魅力をPRするフォトブックの作成やイノシシおりの作成・設置など地域貢献活動等の取組を支援



農家から指導を受ける研修生



イノシシおりの作成

### ○担い手型水田農業の推進

#### 【取組】

- ①「水稻」の経営規模拡大意向農家に対してドローン防除やラジコン型草刈機等の省力技術（スマート農業）の導入を支援
- ②人・農地プランの実質化を通じて、地域農業の担い手の確保及び育成
- ③水田農業に取り組む担い手の高収益化を支援

#### 【成果】

- ①省力技術（スマート農業）の導入実績：2件（リモコン草刈機、水田用水位センサー）
- ②中山間集落協定等既存組織の地区（集落）のリーダーを中心に検討会を開催し、人・農地プラン策定に向けた啓発活動を実施（6月～、42地区）
- ②半農半Xを含め各地区（集落）の担い手候補者に対して、地域の担い手としての意識を啓発するため、個別巡回及び集落検討会等を実施
- ②人・農地プラン実質化に取り組んだ7集落に「担い手班」を設置（3～8人の担い手を確保）
- ③水稻の生育調査及び病害虫一斉調査、栽培講習会の開催（6～8月）等により、管内の1等米比率は93%



集落役員を対象とした検討会開催



だいこん・やまごぼう・セルリーの実証栽培

### ○農家の6次産業化の推進

#### 【取組】

- ①夏季冷涼な気象条件を活かした加工用野菜の作付推進
- ②地域に伝承された加工技術等を活用した加工品の開発・販売拡大を支援

#### 【成果】

- ①だいこん、にんじん、レタス、セルリー、やまごぼう、タアサイの輪作体系を確立
- ②漬物生産者4名が、漬物新商品の試作・販売を実施
- ②生産者配布用の漬物野菜栽培マニュアルおよび漬物加マニュアルを作成



漬物新商品「ヤーコンの粕漬」

## ～基盤整備による担い手へ農地集積の加速化と果菜類の産地規模拡大～

### ○農業用水の安定確保と担い手への農地集積

#### 【取組】

- ・高齢化や人口減少による担い手不足と荒廃農地の発生を食い止め、担い手への農地集積や新規就農者の定着と「トマト」や「ピーマン」等の夏秋期果菜類の産地規模拡大、出荷品目の増強を後押しするため、農業用水の安定確保と農作業の省力化や効率化につながる農業水利施設の更新、用水路のパイプライン化、暗渠排水の設置等を実施

#### 【成果】

- ・水利施設等保全高度化事業等を活用し、農業水利施設の更新工事及び事業計画を作成  
工事実施：明神地区、槇の川地区 2地区  
事業計画：和田ノ窪地区 1地区
- ・農業競争力強化農地整備事業を活用し、用水路のパイプライン化及び暗渠排水の事業計画を作成  
ナベラ地区、永子地区 2地区



槇の川地区の水路整備状況



ナベラ地区の土質調査状況

## ～足腰の強い畜産業を振興します～

### ○足腰の強い畜産業を振興します

#### 1 四国カルスト牧場の取組

##### 【取組】

- ①放牧衛生指導指針に基づき、放牧牛の定期的な衛生検査（健康チェック）による疾病等のまん延防止対策を指導
- ②牧場の家畜収容力の維持、向上を図るため、有害雑草の駆除や草地の改良指導を実施

##### 【成果】

- ①2戸の農家を対象に、延べ191件の衛生検査を実施し、疾病等のまん延防止対策に関する農家の意識が向上
- ②入牧頭数：63頭（前年75頭）

#### 2 媛っこ地鶏の取組

##### 【取組】

- ①地域特産品のトマトを使った特色ある媛っこ地鶏肉の生産拡大を推進
- ②安全・安心な媛っこ地鶏肉生産に向け、必要な衛生指導を実施

##### 【成果】

- ①年間生産羽数：約800羽（前年845羽）
- ②2戸の農家を対象に、延べ12件の衛生指導を実施

#### 3 家畜伝染病侵入防止の取組

##### 【取組】

- ・農家への立ち入り調査を行い、飼養衛生管理基準の遵守状況の確認、必要な指導、家畜伝染病等疾病に関する情報提供を実施

##### 【成果】

- ・家畜伝染病等疾病に関する農家の意識向上



四国カルスト牧場での衛生検査



媛っこ地鶏の生産指導